



農研機構は、ダイバーシティ（多様な人財の活躍）を推進します

## 子育て応援コンソーシアム「第3回会合」参加報告

「子育て応援コンソーシアム」は子育てにやさしい社会的機運の醸成に向けた国民運動の基盤として、官民合同で子育て世帯を応援する輪を広げていくことを目的としています。

今回のコンソーシアムは「農林水産・食品産業分野における子育て応援」をテーマに開催されました。子育て応援団体の一つとして農研機構からは理事長と波積理事が出席しました。内閣府少子化担当 宮腰大臣とのフォトセッション、ご挨拶の後、各団体からの特徴ある事例発表がありました。農研機構からは波積理事が「子育てを応援する職場環境」について、育児中の研究支援制度、一時預かり保育室の運営や、男性の育児参加の応援、女性の活躍状況などについて紹介しました。

また、各団体から地域における食育や農業体験、緑の少年団や 森の教室、子ども食堂への支援、地域における見守り活動など それぞれの団体の特性を活かした地域における子育て支援の取組について紹介がありました。

最後に内閣府から、子育てをしやすい社会を実現するため優良事例を共有して地域へ広めていくこと、食育やフードバンク、農林水産業の担い手の子育て支援など、一歩踏み込んだ取組のネットワーク化などが提案されました。

日時：平成31年1月16日（水）  
会場：赤坂インターシティコンファレンスAIR  
参加団体：農林水産業・食品関連等 24団体  
主催：内閣府

当日の様子は内閣府のサイトからご覧いただけます。

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/meeting/consortium03.html>



内閣府少子化担当 宮腰大臣（右）と農研機構 久間理事長（左）



農研機構ダイバーシティ推進担当 波積理事による取組紹介

## 平成30年度メンタリング研修会を実施しました

農研機構では職員全員が参加できるメンター制度を導入しています。その取組のひとつとして、メンター（相談を受ける側）として必要なスキルの内「傾聴」「相談の受け方」をテーマとする研修会を、下記の2カ所で開催しました。

講師に外部産業カウンセラーの福田能明先生をお招きし、グループやペアに分かれてのワークを中心におこないました。実践的な内容に受講者から好評でした。

### つくば地区

日時：平成31年2月22日（金）  
会場：筑波産学連携支援センター 第6会議室



### 北海道農業研究センター

日時：平成31年3月6日（水）  
会場：北海道農業研究センター ミーティングルーム



## 東北農業研究センターにおけるダイバーシティ実現に向けた取組



東北農業研究センターは、2016年度から岩手大学を代表とするJST事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」（実施期間：2016～2021年度）に、弘前大学、八戸高専、一関高専、（株）ミクニとともに参画し、北東北地域における女性研究者およびその上位職の増加をめざして、①ダイバーシティ研究環境整備、②女性研究者の研究力向上・リーダー育成、③女性研究者の上位職への積極的登用に取り組んできました。

本事業において東北農業研究センターでは、管理職を対象としたコーチング研修や女性研究職員を主な対象としたキャリアデザイン研修、科学コミュニケーション研修、外部資金獲得セミナーの開催のほか、論文投稿支援や外部研修受講補助等、ダイバーシティ推進に向け様々な活動に取り組んでいます。

2017年度からは、職業としての研究職に関心を持ってもらうため、女子学生を対象として東北農業研究センターにおける女性研究者の仕事ぶりを紹介し、女性研究者との座談会を行う機会も設けました。

今年度は一般公開に併せ、「女子学生のための研究職ガイダンス」として開催したところ、大学生や高校生、保護者の方にもご参加いただき、参加者からは「（研究を）‘仕事’にしていこうとすることがどのような感じなのかイメージが湧いた」「研究職に就くにあたり家庭を持つべきか悩んでいたが、家庭を持ったことで仕事にも良い影響が出ることもあるとわかり、非常に参考になった」との声が寄せられました。今後は、本事業で作成した東北農業研究センター版ロールモデル集等も活用しながら、女性研究者の裾野拡大につながる活動を継続していく予定です。



科学コミュニケーション研修



女子学生のための研究職ガイダンス



東北農業研究センター版ロールモデル集

## 農研機構のひと - work & life interview 2018 -

昨年から引き続き、職員インタビュー集「農研機構のひと」第二弾を刊行しました。

今回は、若手の研究員やチーム員から部長やユニット長などの管理職まで多彩な8人の、仕事にける想い・これまでのこと・後輩へのメッセージ・家族のことなど、それぞれのwork&lifeを写真とともに紹介しています。



## 一時預かり保育室「なろりんルーム」2019年度の利用登録をお願いします

利用登録は年度内有効ですので、**今年度利用登録をされている方も、来年度の登録が必要です。**  
2019年4月1日から2020年3月31日までの間に保育室を利用する方は、登録申請をお願いします。



なろりんルーム  
農研機構一時預かり保育室

平成31年4月1日以降に保育室を利用（申請）する際は、新しい登録番号が必要となります。現在の登録番号（H30-0XX-0X）は、継続してご利用いただけませんので、ご注意ください。

3月は登録申請が集中して発行まで数日かかることがありますので、4月初旬に利用を予定している方は、お早めに登録をお願いします。

登録手順など詳細は、デスクネットインフォメーション（3/4掲載）をご確認ください。

